

「和親協力」が日精工の持ち味と
高松喜与志会長



interview

インタビュー

日本精密機械工業会 **高松喜与志** 会長に聞く

日本ブランドを支える 「超精密」への あくなき挑戦

部品加工の高精度化、高品質化への要求を背景に工作機械、周辺機器、工具などメーカー各社のレベル向上への取組みは加速している。日本精密機械工業会（日精工、東京都港区）は顧客の「超精密」加工に寄与する企業を会員とし、切削・非切削型の加工機、周辺装置、工具メーカー、商社などで構成。日本の誇る「超精密」なモノづくり

を下支えしてきた。近年は自動車の電動化や半導体関連、医療機器などより精度を求められる領域での需要が拡大し、その使命は重要になっている。今年で創業65周年を迎える日精工の高松喜与志会長（高松機械工業(株)会長）にグローバルな変革期の中での業界の取組みと展望を聞いた。